

アメリカ・サンディエゴで行われた北米神経科学会議 2018 でポスター発表

私はアメリカのサンディエゴで行われた北米神経科学会議 (Society for neuroscience) 2018 に参加した。この学会は主に神経科学に焦点を当て、それに準ずる手技に必要な機器や実験装置を一般に紹介したり、様々な研究結果を見、また自身でその研究成果を発表できる学会である為、私もこれに参加した。私は『Rapid influx of extracellular Zn^{2+} into substantia nigra pars compacta via AMPA receptor causes of paraquat-induced Parkinson's disease』(黒質緻密部 AMPA 受容体を介した細胞外 Zn^{2+} の流入はパラコート誘導パーキンソン病を誘発する) という研究テーマについてポスター発表を行った。最初は言語の壁に辟易し、ポスターを見ている方に話しかけることが出来なかったが、私のポスターを熱心に見てくださるひとりのニューロサイエンティストへ自身のテーマを話したことを皮切りに、総勢 14 人の方へ自身の研究テーマを伝えることが出来た。その中でも一人の方は私と同じような研究をなさっており、その方との研究のすり合わせ、また実験結果の相同性について話すことが出来た。この経験は、自身の行ってきた研究が如何に精緻に行えているかの確認になるだけでなく、科学の不確かさを払拭することが出来る一件であったため非常に記憶に残っている。この経験を今後活かしていくとともに、難儀した英語のヒアリング能力、及び他者の研究について理解を深めるための幅広い知識を得ていきたいと考えている。

薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 統合生理学分野
博士前期課程 2 年 森岡 洋貴

